



人権講演会 ～当たり前はあたりまえじゃない！～

毎年、12月4日から12月10日の一週間は「人権週間」、そして、その最終日である今日（12月10日）は「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。この機会に、いじめや虐待、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見等の様々な人権問題について、自分事として考えてほしいなと思っています。



さて、本校においても先月、人権講演会を行いました。講師として来ていただいたのは平野友明さん。

仕事上の事故で頸髄を損傷して首から下が動かなくなる障害が残り、何をやるにしても家族や介護スタッフの援助が必要で、それが精神的にも重荷になっていたそうです。そんな時に介助犬と出会い、日常生活の幅が大きく広がったのです。平野さんは北陸で唯一の介助犬利用者ですが、一緒に来るはずだった相棒のピースケが急死してしまったので、当日は介助犬協会の方が2頭の介助犬を連れてきてくださって、デモンストレーションを披露してくれました。

講演が終わって帰られる際に、平野さんに「生徒たちに一番伝えたかったことは何ですか？」とお聞きしたところ、「困っている人を見かけたら、『困っていますか？』『大丈夫ですか？』と声をかけられる人になってほしい。」と教えてくださいました。平野さんの経験の中でそれが一番うれしかったそうです。

講演を聴いた生徒の感想を紹介します。

- ・法律を知らない人がいるためにお店に断られることもあると知って、もし介助犬を連れてくる人がお店に断られていたらこのことを伝えたいと思います。
- ・石川県で介助犬を見ることはあまりないかもしれないけど、もしかしらどこかで会うかもしれないから、その時は今日聴いた「触れない」「しゃべりかけない」「優しい無視」を心がけたい。そして困っているのを見かけたときは助けてあげたいと思いました。
- ・平野さんのように、問題ないのに「めんどくさい」とか「関わりたくない」とかで悲しむ人が出てくるのは不公平なので、ちゃんと全員が理解して正しく関わることができたらいいと思います。
- ・たくさんの方がいろんな生き方の方がいることをもっと知るべきだと感じた。
- ・介助犬をもった方が公共の場に来られたときには、その場にいる人が介助犬をもった方を受け入れる気持ちを持つ必要があると考えました。



落とした鍵を拾う



スマホを探す